

# 旧東北本線「山線」が 紡ぐまちの記憶



写真：藤田川橋梁

旧東北本線の築堤下に造られた外壁、内壁ともにレンガ造の橋梁。二級河川藤田川に架けられ、側面を垂直にしたアーチ形断面を持つ。



▲山線を走ったC58形蒸気機関車(撮影者：徳永 益男)

「山線」と「海線」  
利府駅から赤沼を経由し、松島駅、品井沼駅と続いた路線で現在の東北本線のうち、かつて使われていた旧ルート(山側を通る路線)のことを指します。1944年、東北本線の岩切〜品井沼間を海沿いで結ぶ新しい線路(海線)が敷かれます。すでに大正時代から、従来のルート上にある急勾配の区間が問題視されており、また、戦時中の軍需物資輸送強化という要請もあつて、敷設に至りました。1956年には「海線」に塩釜駅や新松島駅が設置され、列車の運行割合も「海線」が多くなるなど「海線」の東北本線「本線」化が進行し、1962年に「山線」が廃止となりました。



▲旧利府駅正面 1982年

**支線の終点 利府駅**  
「山線」の廃止後、「山線」の駅である利府駅が残った背景には、町民の強い思いがありました。町教育委員会の資料によると、山線の廃止計画が1949年に発表された翌年、「山線」と利府駅存続の請願活動がはじまっています。利府駅廃止反対期成同盟を結成して陳情活動をし、その年のうちに衆議院で利府駅の維持が決定されました。また、住民へ利府駅の利用をよびかけるなど、利用者側の努力で利府駅の重要性を示そうとする動きもありました。住民の強い思いと行動が、いまに利府駅を残しています。

## 利府町における 東北本線の歴史

1894年

利府駅が開業

1944年

「海線」開通  
従来の路線は「山線」に

1949年

「山線」廃止計画発表

1950年

「山線」と利府駅存続の  
請願活動がはじまる

1956年

「海線」に塩釜駅や  
新松島駅が設置

# 旧東北本線

## 「山線」を活かしたまちづくりシンポジウム

# 鉄道遺産を、まちの未来へ

3月22日(日)、文化交流センター「リフノス」でシンポジウムが開催されました。約300人の方が訪れたシンポジウムでは、郷土史家の菅原正道さんを講師に、第1部では基調講演「東北を大動脈として支えた山線」、第2部ではパネルディスカッション「旧東北本線(山線)を、どう未来につなぐか」のテーマで会場の皆さんと理解を深めました。



郷土史家 菅原 正道さんによる基調講演



利府町機関車保存会  
代表  
鈴木 隆悦さん

一般社団法人タンコーカナリ  
代表理事  
石井 宏之さん

東北歴史博物館  
建造物担当技師  
成田 翔音さん

株式会社三協技術  
文化財調査室  
高橋 義行さん

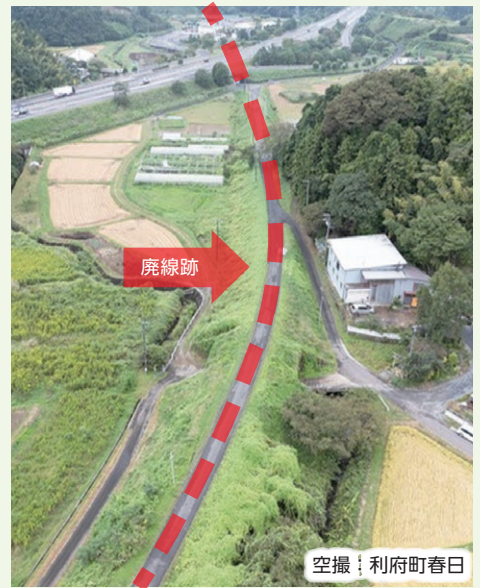


### 参加者の声

アンケートに寄せられた、皆さんの声をご紹介します

#### 山線への思い出

- ・山線沿いに住んでいます。叔父が仙台へ通勤時、列車から手を振ったり、土産品を投げしてくれたことを思い出します。
- ・私が利府小学校3年生の頃、山線が廃止されて寂しい思いをした記憶があります。駅の売店がなくなり、マンガが買えなくなったのを覚えています。
- ・高校生のとき、駅員さんから「早く、早く」とせがまれて乗車した記憶があります。利府駅構内で直視した蒸気機関車の猛烈さに、ただただ驚愕でした。
- ・坂の途中で登れなくなると、乗客のみんなが降りて列車を押し出したという話を母から聞いています。蒸気機関車の窓を開けるとトンネルの中で煙が入ってきて鼻が煤で真っ黒になるとも聞きました。



空撮：利府町春日

2022年

S・L・E・L老朽化により  
S・Lのみ動輪を  
モニメント化



1986年

駅舎改築

1975年

東北新幹線の建設を記念  
してS・L・E・Lを  
本町へ展示

1962年

「海線の全面複線化完了」と同時に  
「山線」が廃止  
利府駅は残り、支線の終着駅となる

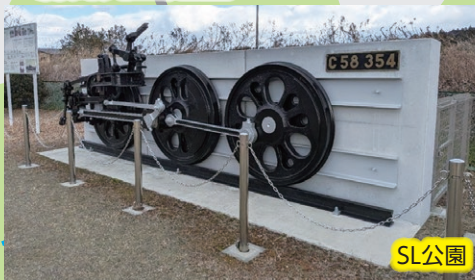
1957年

「海線」が陸前山王「品井沼間」を  
除いて複線化

# 「山線」スポットを歩く～森郷から赤沼まで～



## 1. 森郷児童遊園



SL公園

1975年、東北新幹線の建設を記念して、本町にSLとELが展示されました。その後、2022年に老朽化のため、SLの動輪のみをモニュメント化して展示しています。



松島海岸IC

4

赤沼信号場跡

## 4. 赤沼信号場跡



県道8号線

三陸自動車道

赤沼字横街道 付近

染殿神社から松島方面に600mほど行ったところ。左側が県道8号線(利府街道)、右側が三陸自動車道。信号場があった場所には当時停車場もあり、他の廃線跡と比べて広がっています。

## 3. 藤田川橋梁



森郷字一里塚 付近

橋自体は廃線後に架けられたものですが、旧線時代の橋脚が今でも橋を支えています。

## 3. 藤田川橋梁



春日字黄金井 付近

明治時代に造られたレンガ造りのアーチ橋。山線が走っていた頃の様子を伝えてくれます。

橋を支える橋脚

2

## 2. 橋を支える橋脚

森郷児童遊園

1

利府駅

利府塩釜IC

## 「山線」に関する資料を集めています

皆様のご自宅に、山線や利府駅のことがわかる道具や写真などがありましたら、生涯学習課にご連絡ください。ご協力のほどよろしくお願いします。



電化前の東北本線利府駅のホーム(1960年頃)



旧利府駅前(1973年)



ホームから改札に向かう人々(1982年)

生涯学習課 文化振興・リフノス係 ☎767-2197